

# 江戸の知恵 打ち水日和

打ち水の作法は3ステップ  
日陰に撒くと涼しさが持続します！



- 1.水を用意する
- 2.水を撒く
- 3.涼を得る

## ～ 打ち水の歴史 ～

戦国から安土桃山時代を経て「茶の湯」が成立しました。「茶の湯」では、礼儀作法としての打ち水が行われます。

江戸時代には、「打ち水」が俳句に詠まれたり、浮世絵に描かれており、涼の手段として一般的であったと考えられます。

## 打ち水の効果

打ち水をすると「気化熱」により気温が下がって涼しく感じます。  
※水が蒸発する時、地面の熱を奪い、温度が下がります。



7月25日の打ち水イベントで使用した水の一部は、  
「西府町湧水」 から汲んでいます！

府中市内の府中崖線にある貴重な湧水であり、  
2004年には「東京の名湧水57選」に選定。

※NPO法人府中かんきょう市民の会 にて定期的な水質調査(市委託事業)  
を実施しています。

